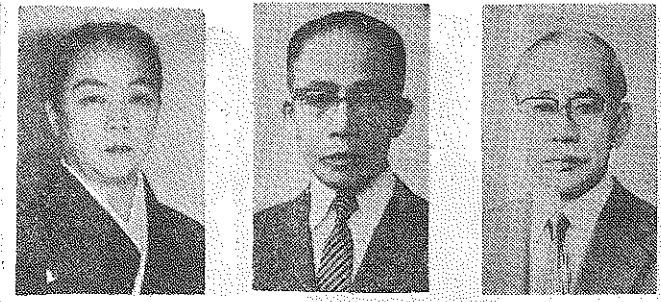


名匠の巨頭鑑

上段より左への県知事より賞揚された人格紳士板倉旭富師...



(永田吟混師) (榊本旭風師) (板倉旭富師)



(半田淳子師) (都 錦徳師) (久保旭栄師) (小原旭成師) (望月暎江師)



(若宮旭登師) (田子旭園師) (原島旭粧師) (須田誠舟師)

若宮旭登師が 大師範に昇格す

筑前琵琶女流名匠中の最古参で名人の誉れ高い若宮旭登女史は、本年一月一日付で大師範に昇格された...

正月二日テレビ 「龍馬が行く」 山下師出演好評

昭和五十七年一月二日テレビ東京で、正午より上映の「龍馬が行く」の第四部寺田屋事件の場で琵琶と朗詠に出演され、堂々たる妙調子で観衆を魅了した...



(山下旭瑞師)

阿部秋子一門の 新春譚い初め

中京地区名古屋で活躍人気上昇中の、阿部秋子さんは、一門の会員と共に琵琶を招待して一月十七日正午より、大須の福祉会館五階和室にて新春譚い初めを行い、夕食を共にして親睦を深めた。

Advertisement for 石田琵琶店 (Ishida Biwa-ya) featuring '薩摩琵琶' (Satsuma Biwa) and '愛吟集' (Ai-in Shū) with prices and contact info.



琵琶特集 二月号

芸の友廃刊の辞

親愛なる芸の友紙御愛読者並に国民伝統精神音楽古典琵琶楽の同好各位に対し、昭和二十五年春芸の友紙創刊以来月刊紙として三十有余年近く、一回の週刊休刊もなく...

この間大正十三年二月新聞社を辞して自力で月刊「芸」新聞を発刊し、昭和十七年春戦争に紙は大切な軍需物資として朝鮮総督府より要請で廃刊となった...

折角居所を確かめ郵送しても、二、三年送っても切手代すら払わぬ方も多くて、これが礼楽と言ひ琵琶人の行為かと疑われて来たのだ...

地方では福山、大阪、小倉、門司、神戸、横浜、鹿島、福岡等で全国大会が開かれ、昨年は東京でまた催され満員の盛況でした。

はなかつたのです。折角居所を確かめ郵送しても、二、三年送っても切手代すら払わぬ方も多くて、これが礼楽と言ひ琵琶人の行為かと疑われて来たのだ...

四の絃

一年の計ごととは元旦にありと言ひが新年号は前年の十二月に編集し出版するの事実の新年版は月刊では二月号がそれである...

意を表して参りましたが、齢も九十三歳を算して視力が薄くなり二分の力よりなく止むなく廃刊を断行決意した次第であります。

琵琶楽協会総会 新年懇親会開催

日本琵琶楽協会の昭和五十七年度定期総会は、一月二十六日午後一時より港区海岸一の一の六日日本食学会議室で開催し、型の如く会長挨拶、収支決算、今年度事業予定、予算概算を審議し、終って新年懇親会を開き親和増進を図って夕刻散会した。

昭和五十七年二月一日発行

非売品

編集発行者 鈴木普士

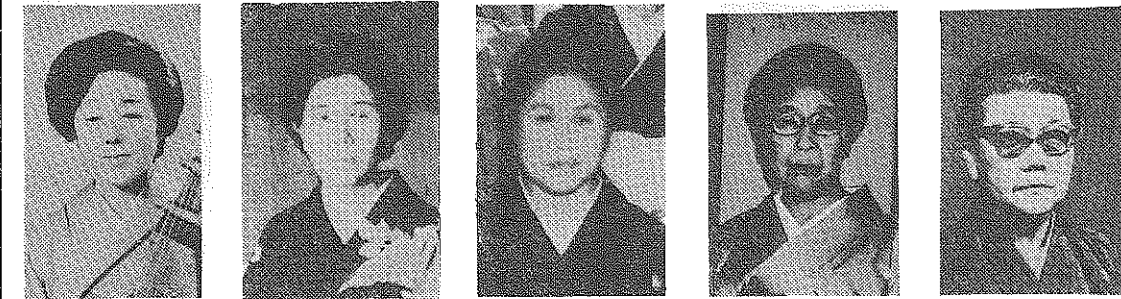
東京都練馬区豊玉北五ノ一一 電話(九九一)〇三六三番

芸の友社

芸道の権威者



(内山岳俊師) (村上空城師) (笹川鎮江師) (雨宮国風師) (笹川良一会長)



(柴田旭堂師) (河野旭保師) (押田旭務師) (山崎旭萃師) (堀田錦史師)

謡詩界の権威者と名匠の巨頭鑑

◇上段右より左へ日本吟剣詩舞振興会長笹川先生△国風流宗家雨宮国風師△吟界の女王笹川鎮江師△空城流宗家村上空城師△北海道吟道先覚者内山岳俊師

◇二段目右より鶴派宗家鶴田錦史師△琵琶吟家山崎旭萃師△東京琵琶元老押田旭務師△九州琵琶界の女王河野旭保師△関西の覇者柴田旭堂師

◇三段目(右) 謡詩両芸の重鎮堀田甲師△(左) 錦心流本部会長中谷襄水師

◇四段目右より嶺派家元嶺旭蝶師△広島芸界の人氣王板谷旭郎師△関西錦心派の名人三浦蓮水師△錦琵琶花王木原綾子師△旭会巨頭藤巻旭鴻師

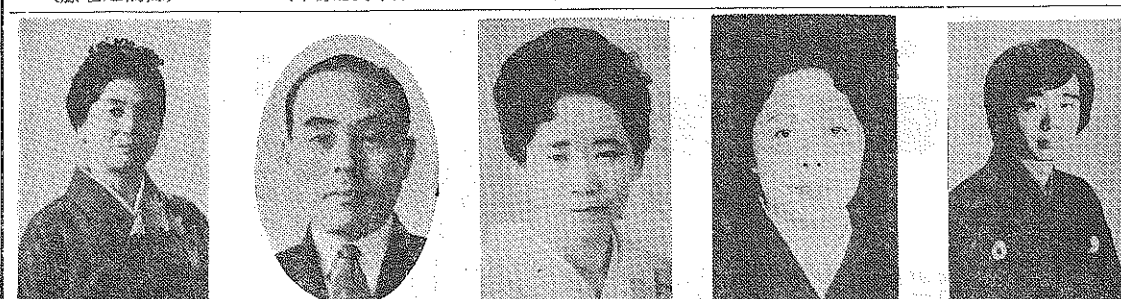
◇下段右より名人田中之雄師△名花田旭城師△芸家中村旭園師△関西連合会長田中旭昇師△書道大家広瀬圭穂師

(中谷襄水会長)

(堀田旭甲師)



(藤巻旭鴻師) (木原綾子師) (三浦蓮水師) (板谷旭郎師) (嶺旭蝶師)



(広瀬圭穂師) (田中旭昇師) (中村旭園師) (林田旭城師) (田中之雄師)

芸の友御支援の御厚情を深謝

鈴木 營士

未曾有の敗戦で、数百万の貴い人命と、日清、日露の両戦で占領した土地と、併合の韓国と満州、樺太まで奪われた狭い母国日本へ終戦の昭和二十年暮に朝鮮京城より引揚げて十二月東京へ着いた私は、在鮮中一回も戦災を受けぬので引揚げ途中で見た本國都市の大戦禍に驚き、首都東京の広い焼野原の実状に呆然となった。

在鮮中救度帰国し、愛好の琵琶や義太夫芸能家とも知己を得たので、東京で三世橋旭翁、水藤枝水、橋旭宗、山口錦堂の諸名師を訪問したが、三世旭翁師一家が戦災の焼跡に古焼木を並べトタン屋根、ムシロ敷の小屋住居であったのは意外で、その後全国会員の寄付で旭寮が新築された。

私は其後郷里茨城県の実家で大病に襲われ、二十二年上京其の後朝鮮時代の親友生重、水波ご夫妻の世田谷の住居を尋ね二泊して談合の末、生重氏の勧告に依り琵琶復興を目標に同好者の連絡機関として月刊紙「芸の友」の創刊を決意し物価統制時代に水波ご夫妻の協力を得、謄写版四頁刷りで初版を発行したのである。

この出版によって旭会顧問池上作三先生、豊田旭暉、吉村岳城、伊藤長四郎、鈴木鉦次郎、中谷襄

水、小山田實水、平田旭舟、田辺尚雄の諸師と知り御厚意を受けたので生涯忘れる事は出来ぬ。特に政界の巨星笹川良一、旭鳳御師の心暖まる御愛情に感激した。

地方名士と交流

地方の琵琶名匠と面識の先端は静岡の山本鶴声、岡尾鶴城両師で演奏会の御招待であり、竹下、広瀬両女流同行であった。次が名古屋の岩見さんの演奏会で、続いて彦根の山本旭城師を訪問、更に京都四明会を大阪の広瀬水師の紹介で訪ねて栗本天芳翁の御世話に預り四明嶽、比叡山延暦寺と大津市を観光し手厚い待遇を受け感謝す。

東京では池上先生が種々の演奏会を催して地方の大家を出演させ戦後衰退の琵琶も復興の波に乗って来たし各流の大事業全国大会も回復されて順調に人気を呼んで来たのは嬉しい。大阪では筑前派の水兩師の活躍が目立ち、榊本旭風師や尾山旭瑞常師も活躍、神戸では松岡旭岡師や柴田旭堂巨匠、西宮の三浦蓮水女史と作歌松野紫雲こと三浦忠氏の人望が光って居る。一昨年逝いた松岡師とは朝鮮時代の知己で、今は田中旭昇連合会長の代り舞台である。広島は板谷旭邑さんの独り舞台である。

八年前福山で開催された旭会全国大会の際、同宿舎で知り合った九州琵琶界の女王小倉旭会長河野旭保女師の礼儀の正しいの謙譲の美徳に感動し巧技技群に敬服し

た。以来毎年の全国大会でお目にかかり御厚情に深感している。九州では此の外福岡の嶺旭蝶、中村旭園両女史の温かい御支援を頂いたことを茲に申上げて深謝を捧ぐ。

東京の琵琶も芸の友紙の発刊後約十年を経て日本音楽学会権威田辺尚雄先生が、国立劇場建設に伴って文化国家を宣言した日本の芸能界の発展向上を宣言した日本の芸術家の発展向上を宣言したの芸術家を勧告されたので、辻師が各流の宗家と幹部に呼びかけ創設したのが現在の日本琵琶楽協会であり、吉川英史会長は当時田辺先生の側近助言者であった。世界楽界の名人鶴田錦史女師や旭会の大物で光る藤巻旭鴻氏も故平田旭舟名人の指導を受けられた大家であったと記憶している。現在鶴田師一門の幹部として注視され、琵琶楽協会の役員である友吉、石坂の両氏は錦心流の名手で、鈴木流泉氏と共に同派の三羽ガラスと呼ばれている。

以上は主として東京以西の著名人であるが、特記したいのは北海道の長老大家で、函館には元老の高橋蘇水翁が高齢で活躍して居り、札幌には吟詠を開拓された先覚者の名人内山岳俊師が愛吟家幾万人の方より敬父の如く尊敬され鶴堂の琵琶家として文化賞も受け名実共に道内第一人者である。それに昨年他界された惜しまれた横山岳玲師が薩派の名人で強力な宗家支持の礼節師で有名であった。東北の芸所秋田市に吟詠吟舞の空城流宗家の村上空城師が居城を構えている。この方こそ芸界稀な

温厚高潔な人格者であり徳望家である。而して書道を始め舞台装置まで立派に造る万能ぶりに驚く。礼節の正しい情義人が衆望を呼び正に芸界の偉人である。

(追伸) 東京の部で書き漏らした筑前派の元老で昨年賜金を受賞された押田旭務女師は、真に礼儀正しい名人で謙譲博愛の美徳輝く模範師で女王と敬称される。

山崎旭萃師の篤志

昔から名人には凡人とは多少異った「名人カタギ」の性格があり礼節義理人情味で突飛な行動に出で感激させられる事がある。

去る十一月二十五日に日本琵琶楽協会設立の発頭人理事長から副会長に昇格された琵琶界の元老である辻剛剛翁が突如急病で入院し同日死去され、二十八日東京西園分寺の東福寺で葬儀が協会葬で執行された。此の葬儀に二十五日札幌の荒木女史の招きで渡道したばかりの大阪の山崎旭萃女史が札幌から馳けつけ、日帰りで会葬焼香され参列者一同を感激させた。山崎女史が当日正午の葬式に参列するには夜半に起床し千歳空港から羽田へ、而して羽田から更に西園分寺へへと半日を要するの女性としては容易ならぬ旅で、それを態々会葬された山崎師の行為は、正に名人氣質の礼節で龜鑑と称すべきだろうと茲に紹介する。

空城流斗南会の57年度行事予定

東北地区吟詠界の覇王秋田市の空城流斗南会宗家村上空城師は、芸界稀れに見る高潔な人格者で、礼節信義の紳士で、博愛情義の範行は大眾の敬慕の的と讃えられる。

その村上空城師は昨秋米健康を害し大病院で治療を受け、経過良好で迎年に際し、五十七年度の空城流本部の行事予定を左の通り通知して来られた。

◎二月二十八日 空城流免状授与式並に祝賀会を杉の家で挙行す。

◎四月二十九日 秋田赤十字愛の芸能祭を県民会館で開催。

◎九月五日 秋田市総合芸能公演を文化会館にて。

◎十月十七日 秋田市邦楽公演(詩吟、琵琶、謡曲)。

以上の外空城流斗南会の詩吟朗誦大会が県北会、県中央会、県南会、全県大会と催される。それに宗家空城師が五月と十一月に各一週間の予定で上京されると。

中京堀田師の五十七年初吟会

中京の吟界で多くの役職を待ち自らも天風甲申流宗家として多端に活躍されている岡崎の、天風翁甲堂事堀田旭甲師は一月十日岡崎市勤労会館大ホールにて初吟会を開催、来賓も招待して一門と共に熱吟を披露し盛況裡に終了。